

# 夢が花咲き 泉のわく



第 15 号  
2024. 11. 25  
文責：校長（門田）

進んで考える子・共に助け合う子・元気でたくましい子

## 文集「いわいの子」出品作品 その3

### 「今年も来た学習発表会」

五年一組 ○○○○○



不安と緊張があった日でした。今日は学習発表会当日で、不安と緊張があったのです。毎年あるのですが、この気持ちは行事の日が来るたびすぐにあらわれます。

他の学年の出番が終わり、体育館に来た自分たちは列を作り待っていました。周りにいる友だちと話をしていると親を見つけた自分は、びっくりしました。けれど、少しだけ緊張がなくなった気がしました。大勢の人たちがいる中で家族がいて安心すると思ったのは、いちばん長くいてくれて、いちばん信頼できるからだなと思ったからです。

そう思っているうちに、自分たちの出番がついにやってきました。緊張していたせいなのかもしれないけれど、先生方が準備しているのもあつという間に感じました。

ついに私たち五年生の出番になりました。私は宿泊学習チームの野外炊事グループなので、出番はまだまだ先ですが、他のSDGsや自動車工場チームの音が舞台うらまで聞こえてきました。練習の時も声は聞こえていたけど、本番の方が大きい声だったので、よく聞こえてきました。やっぱり本番になると「みんなすごいなあ」と思いました。

一方で、自分を出せないのではないかととても不安でした。練習の時は、ふだんの自分より声を大きく出せている気はしたのですが、いざとなると大勢の人の前で出せるかと考えると少し不安になりました。し

かもせりふを聞ちがえるときもあつたので不安なことはたくさんありました。

ついに自分の出番が来ました。舞台上立って目の前を見ると人が体育館にたくさんいておどろきました。練習の時は五年生のみならず先生方が何人かいたくらいだったけれど、その何倍も人がいたので、去年の学習発表会のとくと比べても多いなと感じました。

自分のせりふを少し間違えたりしてしまったのはくやしかったです。緊張があまりなかったおかげなのか大きな声が出せてよかったです。舞台うらに戻ると緊張や不安がありました。練習のときよりよくなりました。

今年の学習発表会も、みんな声をしっかり出せていたので私は成功したなと思っています。でも、SDGsや自動車工場チームの演技を見られなかったのは悲しかったです。一度でもいいからほかのチームの演技を見たかったなあと思いました。今年の学習発表会も良かったけれど来年の学習発表会では今回よりも見てくれる人たちがすごいと思ってくれたり喜んでくれたり、笑顔で帰ってくれるように発表会にしたいと自分は決意しました。今年みたいに声を大きく出して、せりふを聞ちがえないようにするのを目標にして、努力したいです。

### 「たくさんの人に知ってほしい」

五年二組 ○○○○○



今日は学習発表会がありました。会場のみなさんに「SDGsの目標とは何か」調べたことをきちんと伝えるためには大きな声で

はきはき話すことが大切です。みんなでこれ  
を目標に、恥ずかしい気持ちと戦いながら練  
習をがんばりました。でも「もつとお腹に力  
を入れて、声を出そう。」先生達から何度も言  
われ続けました。私は、どのくらい大きな声  
を出せばいいのか、内心腹を立てながら練習  
に参加した時もありました。校庭に出て声を  
出す練習もしました。

練習の成果が実を結び、SDGsグループ  
みんなが、大きな声を出してはきはきと発表  
することができました。私は、目標を達成す  
ることができて自信をもつことができました。  
他には、調べたことを三文にして、わかり  
やすく伝える文章作りをがんばりました。そ  
れは、参考にした文献の言葉が難しく苦労し  
たからです。そして、ペアの千里さんと次の  
ように発表しました。  
「SDGsの目標は、全ての人が働きがい  
をもち安定した生活ができる社会をつくらう  
です。これは、全世界で仕事があっても貧困  
から逃れられない多くの場所があるからです。  
そのため、環境を守りながら、質の高い仕事  
に人々がつける条件を整備することが必要な  
のです。」

学習発表会を終えて、世界には私が知らな  
いことがたくさんあることに気付きました。  
日本では、当たり前前に子どもは学校に通っ  
て教育を受けることができます。しかし、世  
界には家が貧しかったり、戦争などの理由で  
教育を受けたくても働けなかつたりする  
子ども達もたくさんいます。また、「仕事をし  
たい」と思っている人も、性別や年れい、障が  
いによって、自分らしく働けない人がいっぱ  
いいることも知りました。そして、すぐに解

決するにはむずかしい問題だと知りました。  
私は、私が大人になるまでに、どんな状況の  
人でも平等に教育を受けられ、自分が望む仕  
事につけて、差別なく過ごせる世界に、少し  
でも進んでいけたらいいなと思います。

私が今日からできることは、日本に生まれ  
恵まれた環境で教育を受けられることに感謝  
し、しっかりと勉強することです。

また、「みんな違って、みんないい」という  
言葉があるように、自分と他の人の違いをポ  
ジティブに受けとめられる心を育てていくこ  
とだと思いました。私は、大人になっても差  
別をしない人でいられるようにしたいです。  
SDGsの学習を通して、私は、少しだけ世  
界を知ることができました。知るということ  
で未来をよくすることができると思いました。  
私は、たくさんの方が関心をもって、SD  
Gsについてもっと知ってほしいです。

### 「次の発表こそは」

五年三組 ○○○○

十月十九日、花泉小学校学  
習発表会がありました。



車工場見学、宿泊学習、SDG

sの中から、入りたいグルー  
プを決めるところから始まり  
ました。私は、第一希望のSDGsグループ  
に入れたので、「運がいいな」と思いました。  
というのも、第一希望と配属されたグループ  
が違う友だちがいたからです。

次に、シナリオ作成に取りかかりました。  
私は、近くに座っていた友達とペアを組みま

した。最初は、自分たちでシナリオを作るの  
は難しそうだと思ったけれど、資料があった  
ので「簡単だな」と安心しました。しかし、  
実際に考えてみると、資料のどこを切り取れ  
ばいいのか分かりませんでした。同じペアの  
友達と一緒に、「ここは、必要だよね」「ここ  
は、いらないでしょ」と話し合いながら、シ  
ナリオを完成させました。終わったときには、  
達成感よりも、「次は練習だ・・・。このシナ  
リオで大丈夫かな。」という不安の方が大きか  
ったです。

そんなことを考えていても、あつという間  
に練習する時間になります。開き直り「練習  
なんだから、失敗しても大丈夫だ。」という気  
持ちでやりました。練習すればするほど。自  
分でもわかるくらい声が大きくなっていきま  
した。声の大きさの次は滑舌、その次はシナ  
リオの修正、さらにその次は小道具づくり。  
次から次にやるが出てきて、全てを完璧  
にするのは難しかったけれど、その時の全力  
は出せたと思います。

その成果を発揮する一回目の本番、総練習。  
もつと緊張すると思っていたけれど、想像よ  
りは緊張しませんでした。「もう五年生だから  
かな。」と自分の成長を感じていると、少しあ  
った緊張もほぐれました。

二回目の本番、学習発表会当日。総練習も  
当日も発表する前は同じくらいの緊張でした  
が、見ている人達が違います。本番では、な  
ぜかクスツて小さく笑ってしまいました。今  
思うと、「自分で自分の緊張をほぐすためだっ  
たのかな。」と思います。練習と同じくらい  
の音量で発表できて良かったです。でも、焦っ  
ていたのか、いつもよりポスターを広げて見

せるのに時間がかかってしまいました。それ以外は練習とあまり変わらずにできたので満足です。

家に帰る途中の車の中で、お母さんに「私の声聞こえた？」と聞いてみると「うーん、びみょう。」と言われたのが悔しかったのです。だから、六年生になったら、お母さんに聞こえるくらいの声量で発表してやろうと思います。

### 「学習発表会をふり返って」



六年一組 ○○○○

今年の学習発表会で私たちの地域について、統合前の小学校のグループに分かれて調べて発表することになりました。私たちは花泉地域について調べることになり、みんなで話し合っって八雲神社と花立泉について調べることにしました。

総合的な学習の時間では、実際に花立泉に行っって見学しました。花立泉は平安時代の將軍坂上田村麻呂が二本の桜の木の下に立っって剣を地面に突き刺した時に水が湧き出してきた場所です。それが「花泉」という地名の由来になっていることがわかりました。八雲神社では、神社の方からお話を聞きました。八雲神社は江戸時代に建てられた神社で素戔嗚尊と大年神をまつっているのだそうです。

学校に戻っってから、発表の準備をはじめました。私は、台本作りを担当しました。発表時間は各グループ五分以内なので、調べたことや花泉地域の良さが見ている人に伝わるよ

うにいろいろ考えました。台本ができたので、みんな練習を始めました。せりふが長かったので覚えるのが大変でした。また、衣装作りも自分たちでやったので、なかなか終わらなくて大変でした。

総練習では、他の学年の発表も見ることができました。四年生は歌が上手だったし、他の学年も声がよく聞こえていてすごかったです。六年生の出番になりました。私は緊張して、声が小さくなっってしまったので、本番までの練習をもっと頑張ろうと思いました。旧花泉小学校の校歌も最初よりは良かったけど、校歌も練習をがんばらないといけないと思いました。

総練習から三日たっって、本番になりました。一年生から五年生の発表の時は教室で待つていました。出番が近づいてくると、どんどん緊張してきました。六年生の発表になりました。声を大きく出すことを意識してせりふを話しました。声は大きく出せたけど、緊張で早口になっってしまった。校歌は今までよりも大きな声で歌うことができたのでよかったです。

私は花泉について調べることで、花泉の良さが改めてわかったし、花泉の良さについて見ている人達に伝えることが今回の学習発表会でできました。この花泉がもっと良い花泉に明るい花泉になればいいなと思います。だから、あいさつをたくさんするようにしたいし、花泉の歴史が残るようにこれからも花泉を大切に生きていきたいです。

### 『花泉』に目を向けて」



六年二組 ○○○○

花泉小学校は、昨年度、六つの小学校が一つに統合されました。今年の学習発表会では、元の小学校ごとに分かれ、その地域の歴史や人物などを紹介することになりました。先生

は「台本や小道具、衣装、発表のスライドなどの学習発表会に使うものを全部自分たちで準備してください。」と言いました。わたしたちだけで舞台を作らなければならないことにとってもおどろきました。それでも、聞いてくれる人には永井のよさを知ってもらいたいし、私自身も永井のまだ知らないことを知りたい話合いという気持ちで学習に取り組みました。話合いを通して、私たちは、関ノ戸億右衛門、杉山古墳群を調べることにしました。

関ノ戸億右衛門は、永井の長崎で生まれ、十七年間で優勝四回の結果を残すなど、今の横綱格にあたる実力者といわれていた人物です。その関ノ戸億右衛門に当時の將軍徳川家治から贈られた「釈迦涅槃像図福」が、永井の瑞昌寺に保管されています。本日は二月二十五日にしか見ることのできない貴重な絵でしたが、特別に見せてもらうことができました。その絵には、天からお釈迦様をお迎えに来ているお母さまや鬼、神様、動物の悲しむ姿が描かれていました。

見学の日、久しぶりに歩いた永井は、一年ぶりなのに、とてもなつかしく感じました。「もうなくなっってしまったかもしれない。」と聞いて探し歩いた杉山古墳群の案内標柱は、

男子が見つけてくれました。木に囲まれかくれていて、よく見つけることができたなどおどろきました。この古墳があったことから、当時の永井には発展した村があったのかもしれないと考えることができました。

見学が終わり、本格的に発表準備が始まりました。私は、道具作りの担当でした。ビニール袋で衣装を作ったり、段ボールで小道具を作ったり、先生にアドバイスをもらいながらみんなと協力して作りました。余裕だと思っていたけれど、前日まで衣装を手直しするほどギリギリで完成することができました。

総練習は一回目の本番だという気持ちでのぞみました。永井地区の発表では、しっかりと声が出せました。でも、校歌の音量が小さかったのも、本番までに直したいと思いました。他にも、みんなで話し合い、立ち位置やせりふの速さなどの反省点をまとめ、絶対に活かそうという気持ちで本番を迎えました。

本番は心臓がバクバクするほど緊張しました。声が震えたり、せりふを変なところで区切ってしまったりました。それでも最後の永井小学校の校歌は、伴奏も綺麗で声もみんなが出せたので良かったです。最後に六年生全員で歌った新花泉小学校の校歌は、歌っていて、学年の気持ちの一つになったように感じました。

終わりの言葉で、卒業まで残り五か月しかないことを実感し、寂しさを感じましたが、最高の学習発表会になったと思います。また、一つ大切な思い出ができました。

この地域に暮らす人々のつながりや絆を大切に、これからもさらに育っていく私たちがつながっていけるように、今回学んだ事を

活かしていきたいと思えます。残る大きな行事は、修学旅行と、卒業式です。これからもみんなと大切な思い出を作っていこうと改めて思いました。

### 「最後の学習発表会」



六年三組 ○○○○  
小学校生活最後となる学習発表会。私たちは総合的な学習で学んだそれぞれの地域の良さについて発表することになりました。

わたしたちのグループは、私たちの住む地域に昔から受け継がれている「金沢大名行列」について調べました。なぜ行われるようになったのか、もともと疑問に思っていたからです。

金沢の大名行列は、今から約二百八十年前に火災で焼失した内沢の八幡神社の神様を、現在ある金沢八幡神社に移す際に、内沢地区の氏子一同が、ご神体を護衛して大名行列様式で更新したことが始まりとされているそうです。また、大名行列は今までコロナ禍をのぞいて約二百五十年の間続けられていると聞き、驚きをおぼせませんでした。ほら貝の音に合わせて毛やり、なぎなた、宝箱などを持ちながら行進する姿はみんなの憧れで、大人になったら実際にやってみたいねと、みんな話しました。しかし、その大名行列も年々後継者が減ってきて大変ということを知り、ぜひみんなに金沢の大名行列を知ってもらい、参加してほしいと思いました。

学習発表会に向けての取り組みが始まり、

わたしたちのグループは、大名行列を劇で再現することにしました。今年は、先生から台本を与えられるのではなく、自分たちで一から台本を作り上げていくことになりました。私は台本作りと、発表に使うパワーポイント作りを特にがんばりました。パワーポイント作りでは、動画を入れたりエンドロールを作ったりするなど、自分なりに工夫を重ね、とても見やすく仕上げることができました。

練習が始まると、最初はあまりうまくいきませんでした。どうなるんだろうと心配でしたが、練習を重ねて行くうちにどんどん良い発表が出来上がっていきうれしかったです。

学習発表会本番では、練習の成果を発揮することができました。それぞれのグループで歌った旧小学校の校歌はとてもなつかしく、金沢小学校のみんなと久しぶりに歌うことができうれしく思いました。また、最後に花泉小学校の校歌を二部合唱で歌いました。私は伴奏を担当しましたが、ミスなく弾くことができ安心してました。歌も、低音と高音が重なりハーモニーがとてもきれいで、聞いていて感動しました。小学校生活最後の学習発表会は大成功だと思いました。

この学習発表会で、地域のいろいろな行事を知ることができてとても勉強になりました。また、みんなと協力して一つのものを作り上げる大切さを学ぶことができました。一から作るということは大変だったし、分からないことだらけだったけれど、友だちと協力することで大変なこともいっしょにやり遂げることができ、改めて友だちの大切さを感じることもできました。とても達成感の感じられる学習発表会になりました。